

早島町の住民の足の確保について

早島町議会議員 真鍋和崇

1、早島町の概要

早島町は、人口約1万2千人、面積7.6km²の、岡山県で最も小さく、最も人口密度の高い町である。高齢化率も県下でも23.4%と低い。しかし1970年代から新たに造成された団地群を中心に、倉敷市・岡山市で働く労働者の現役世代の引退と高齢化が進んでいる。

2、コミュニティバスの運行について

(1) 導入に至る経過

高齢化に対応するとともに、南北の交流促進を目的として、国の交付金を利用し(地域活性化・経済危機対策臨時交付金)(緊急雇用創出事業交付金)平成21年度予算で約3,100万円をかけてバス2台を購入し、運転手は町内タクシー会社2社と契約し、無料のコミュニティバスの運行を開始した。



コミュニティバス(早島町HPから)

(2) コミュニティバスの現在の状況

東西2コースが町南北を走り、コースもほぼ町全域を網羅している。約1時間に1便バス停

を通過するため、通学や通勤、買い物などを目的として、早島駅、町内の商店などを中心に年間約42,500人ももの町民が利用し町民の足として定着している。

町民からは倉敷市中庄、茶屋町方面への導入要望が非常に強い。しかし無料コミュニティバスのため、導入は難しい。

(3) 存続にむけて

今年、緊急雇用創出事業交付金の終了によって、存続の是非が問われていたが、町民の利用が増加し「存続をしてほしい」という声が町民からも多く寄せられ、議会でも多数の議員が存続を求めているため、単独町費約1825万円が予算に計上され、平成23年度3月議会で存続が決定した。

3、高齢者・障害者の“足”の確保について

(1) 福祉タクシー助成事業

①75歳以上だけの所得税非課税世帯の住民
②身体障害者手帳1.2級を所持している住民
③療育手帳Aを所持している住民
④精神保健福祉手帳1.2級を所持している住民
を対象にし、500円のチケットカードを月4枚交付している。

以上